
AmiVoice CLx

操作マニュアル

株式会社アドバンスト・メディア

●**ご注意**

- ・本書の内容の一部または全部を、弊社の書面による許可なく、複製・転載することは固くお断りいたします。

●**免責事項**

- ・本システムの運用の際には、本書に記載された仕様や制限を十分にご理解いただいた上でご使用ください。誤って運用した場合の結果については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・弊社は本ソフトウェアの使用および本ソフトウェアを使用して開発されたアプリケーションプログラムの使用から生じるいかなる結果に関しても、保証・責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●**登録商標**

- ・**AmiVoice®**は、株式会社アドバンスト・メディアの登録商標です。
- ・本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

目次

1	はじめに.....	3
1.1	本書について	3
1.2	概要	3
1.3	機能	3
1.4	動作環境	3
2	操作手順.....	4
2.1	ログイン	4
2.2	発話	4
3	各種機能説明.....	5
3.1	ログイン	5
3.2	AmiVoice CLx	6
3.3	拡張画面	7
	音響学習画面	7
	転送履歴画面	7
3.4	最前面に表示	8
3.5	タスクトレイに入れる	8
3.6	単語登録	8
	単語の分類	9
3.7	ユーザー辞書ツール	10
	ユーザー辞書（単語登録）	10
	テンプレート	12
3.8	辞書接続	13
3.9	設定画面を開く	13
	マイク設定	14
	音声入力詳細設定	17
	転送前ウィンドウ	20
	表現	24
	音声コマンド	25
	学習	27
	転送方法	28
3.10	音響学習リセット	29
3.11	管理サイトを開く（マイページを開く）	29
3.12	ヘルプ	29
3.13	バージョン情報	30
3.14	ログアウト	32
3.15	終了	32

1 はじめに

1.1 本書について

本書は、施設管理者用の **AmiVoice CLx** の操作方法が記載されているマニュアルです。
使用される方に関わる **AmiVoice CLx** の概要とその操作全般について記載されています。

1.2 概要

AmiVoice CLx では、発話された内容を文字に変換する音声認識を提供します。
登録単語以外に、テンプレートの編集、そして音声コマンドの読みの変更をすることができます。

1.3 機能

AmiVoice CLx は、以下の機能を持ちます。

- ・ ログイン機能
AmiVoice CLx にログインユーザーの情報を取得することができます。
- ・ 単語登録
音声認識で使用する単語を登録・変更・削除できます。
- ・ 音声コマンドの読みの変更
音声コマンドについて、新たな読みを設定することができます。
- ・ 辞書切替機能
契約された辞書を簡単に切替えることができます。

1.4 動作環境

AmiVoice CLx の動作には以下の環境が必要です。

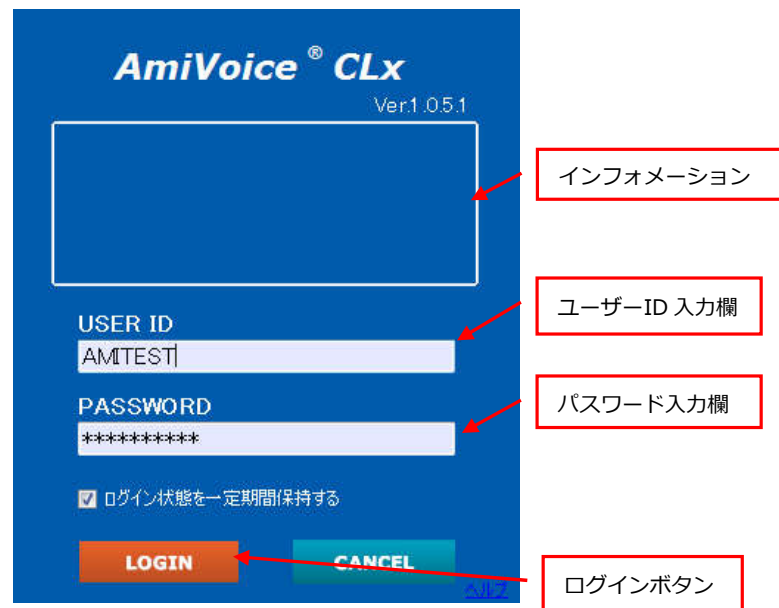
対応 OS	: Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/ Windows Vista(Service Pack 2 以降)
ミドルウェア	: Microsoft .NET Framework 4.0 以上
CPU	: 1GHz 以上のプロセッサ
メモリ	: 1GB 以上
HDD	: 50MB 以上の空き容量
※64bit 版 Windows OS 環境では、WOW64 サブシステム(32bit エミュレーター)上で動作します。	
※Windows 10 の UWP(Universal Windows Platform)は非対応です。	

2 操作手順

2.1 ログイン

はじめに適切な利用者に限定するためにログイン認証を行います。

1. デスクトップにある AmiVoice CLx ショートカット、または【スタート】-【すべてのプログラム】-【AmiVoice CLx】-【AmiVoice CLx】を起動してください。
起動をすると、ログイン画面が表示されます。

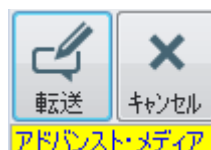


2. USER ID にユーザーID、PASSWORD にパスワードを入力します。
3. ログインボタンを押下します。
認証が成功すると以下の画面が表示されます



2.2 発話

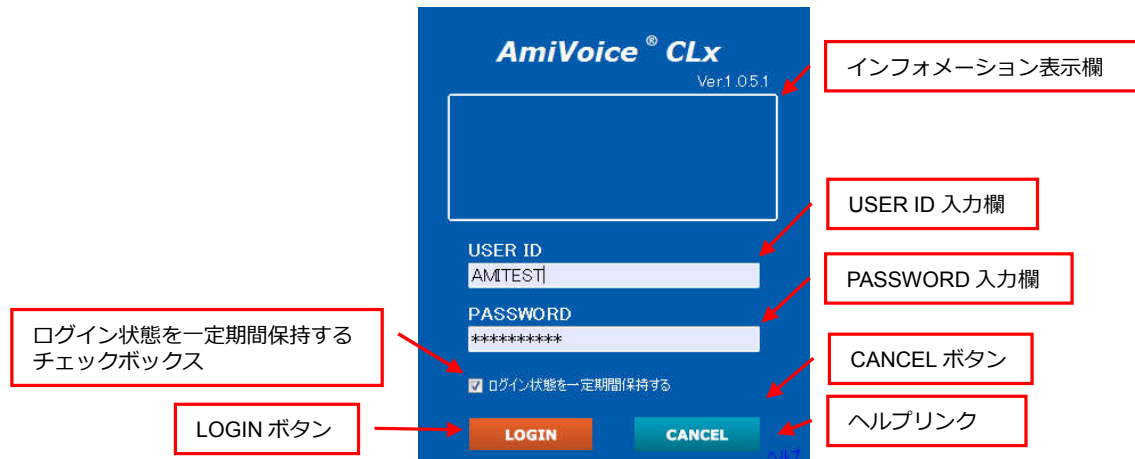
ログイン後、マイクを使用して発話してください。
発話された内容を音声認識した結果の文字が画面に表示されます。



3 各種機能説明

3.1 ログイン

ここでは AmiVoice CLx のログイン画面及び機能について、説明します。

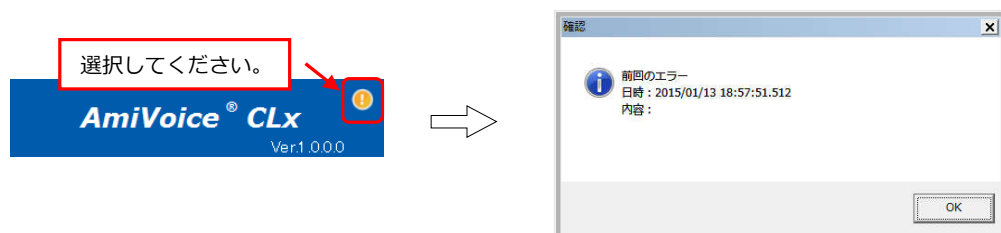


項目	説明
インフォメーション表示欄	サーバーのメンテナンス等の情報が表示されます。
USER ID 入力欄	ログイン認証に必要なユーザーIDを入力できます。(半角最大 14 文字)
PASSWORD 入力欄	ログイン認証に必要なパスワードを入力できます。(半角最大 20 文字)
ログイン状態を一定期間保持する チェックボックス	ログイン状態 (ID、パスワード) の情報を保持することができます。 ※チェックされた状態で起動した場合は、ユーザーID、パスワードが入力されています。 一定期間とは、30 日間です。30 日を過ぎると再度パスワードの入力が求められます。
LOGIN ボタン	ユーザーID、パスワード入力後、押下し認証に成功すると AmiVoice CLx 画面が表示されます。
CANCEL ボタン	押下すると、AmiVoice CLx が終了します。
ヘルプリンク	本アプリケーションのヘルプサイトを開きます。
「F2」キー	前回エラー時にて、強制終了した場合などに必要となるログの出力画面が表示されます。

※初回起動時「固定キー」、「フィルタキー」が有効になっている場合は以下画面が表示されます。
キーボードでマイクを制御する場合は、「解除する」を選択してください。



※ネットワークエラーが発生しアプリケーションが終了した場合、次回ログイン時のログイン画面左上に「！」が表示されます。「！」を押して表示されるエラーの内容を確認し、場合によりお問い合わせください。

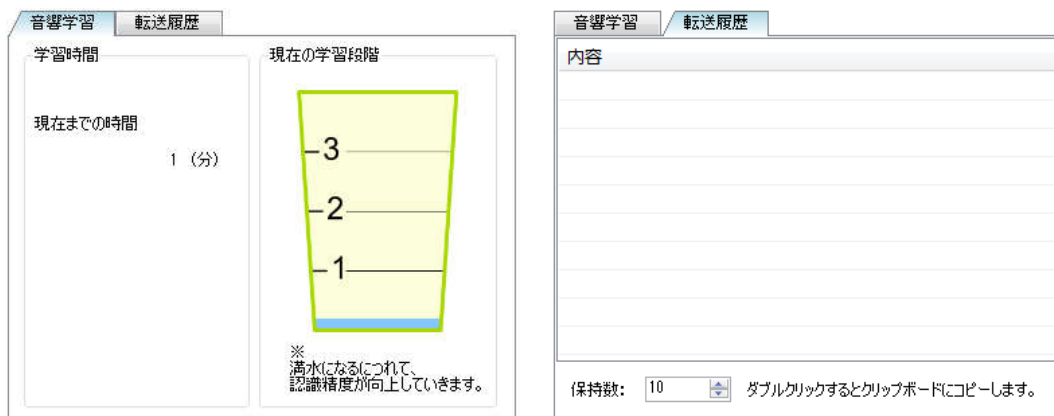


3.2 AmiVoice CLx

ここでは AmiVoice CLx 画面及び機能について、説明します。



- ① ユーザーID
ログインしたユーザー名が表示されています。
- ② 使用辞書
音声認識する際に使用される辞書名が表示されています。
- ③ 拡張ボタン
拡張ボタンをクリックすると拡張画面（音響学習、転送履歴）が表示されます。
拡張画面の説明は以下となります。



画面	説明
音響学習	発話された内容の学習量を表示します。
転送履歴	発話後の転送履歴の一覧を表示します。 発話された内容をダブルクリックするとクリップボードにコピーします。

- ④ メニュー
AmiVoice CLx を右クリックするとメニューが表示されます。
画面とメニューの説明は以下となります。



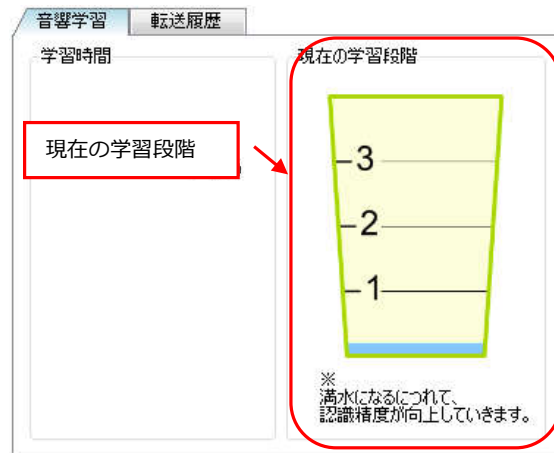
メニュー項目	説明
最前面に表示	AmiVoice CLx を最前面に表示します。
タスクトレイに入れる	AmiVoice CLx をタスクトレイに格納します。
単語登録	単語登録画面を表示します。
ユーザー辞書ツール	ユーザー辞書、テンプレートを設定する画面を表示します。
辞書選択	契約辞書を選択し、切替えることができます。
設定画面を開く	マイク設定、直接入力詳細設定、表現、音声コマンド、学習、転送方法の設定を行う画面を表示します。
音響学習リセット	今まで蓄積されている学習内容をリセットします。
管理サイトを開く (又はマイページを開く)	管理サイト(マイページ)のログイン画面のサイトが開きます。※
ヘルプ	本アプリケーションのヘルプサイトへ接続します。
バージョン情報	アプリケーションのバージョン情報を表示します。
ログアウト	アプリケーションをログアウトし、ログイン画面を表示します。
終了	アプリケーションを終了します。

※条件により表示内容が変更されます。

3.3 拡張画面

音響学習画面

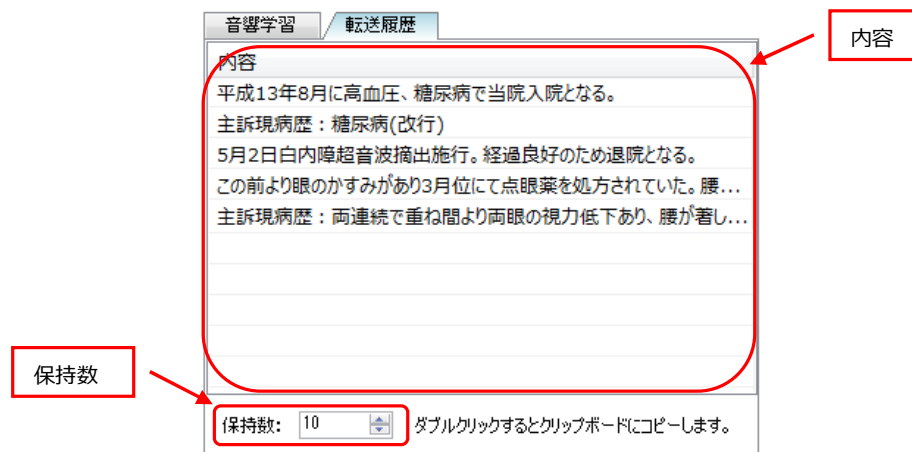
音響学習画面とは、音響学習された蓄積量が表示されています。音響学習機能は、ユーザーの音声の特徴を自動的に学習して、音声入力がしやすくなる機能です。



項目	説明
現在の学習段階	現在の学習段階がコップの水量で表示されています。

転送履歴画面

転送履歴画面とは、発話後にアプリケーションへ転送した履歴を表示させることができます。表示されている内容をダブルクリックすることにより、クリップボードにコピーされます。



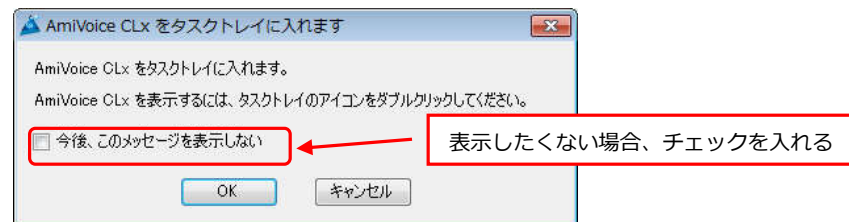
項目	説明
内容	今まで、発話された内容が一覧表示されます。 ※複数行に渡る内容にマウスオーバーすると、右側に詳細が表示されます。
保持数	発話された内容の履歴を保持する数です。10～20 の値が設定できます。

3.4 最前面に表示


AmiVoice CLx を最前面に表示します。
常に最前面に表示したい場合は選択してください。
※初回起動時は最前面に設定がされています。

3.5 タスクトレイに入れる

AmiVoice CLx をタスクトレイに格納します。初回は下記メッセージが表示されますので今後表示したくなければ、「今後、このメッセージを表示しない」にチェックをいれ、【OK】をクリックしてください。

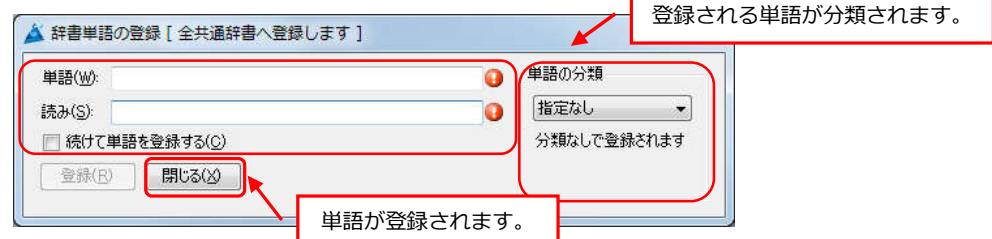


タスクトレイに入っている AmiVoice CLx のアイコンを右クリックし、「AmiVoice CLx を表示する」を選択すると元に戻ります。

 AmiVoice CLx を表示する

3.6 単語登録

単語登録画面を表示します。音声入力しても変換されない単語は、登録を行うことで候補の中に表示されるようになります。



項目	説明
単語	登録する単語を入力してください。
読み	登録する単語の読みを入力してください。(ひらがな)
続けて単語を登録する	登録ボタン押下後続きで登録をしたい場合はチェックボックスを ON にしてください。
登録	単語が登録されます。
閉じる	単語登録画面が終了します。
単語の分類	登録される単語を分類することができます。分類することにより、登録された単語が表示されやすくなります。詳細は「 単語の分類 」を参照。

単語の分類

単語の分類とは、認識させたい単語を適切に登録することによって、その単語が適切な文脈で発話された場合の認識率を向上させると同時に、不適切な文脈で誤認識する確率を抑えることができます。

※使用例

- ・単語を「網」、読みを「あみ」とし、「名前」という分類に登録します。

登録単語	
単語	網
読み	あみ
分類	名前

- ・単語を「Ami 病院」、読みを「あみ」とし、「病院名」という分類に登録します。

登録単語	
単語	Ami 病院
読み	あみ
分類	病院名

- ・「あみに にゅういんした あみさん」と発話します。
- ・認識結果:「Ami 病院に入院した、網さん」と表示されます。

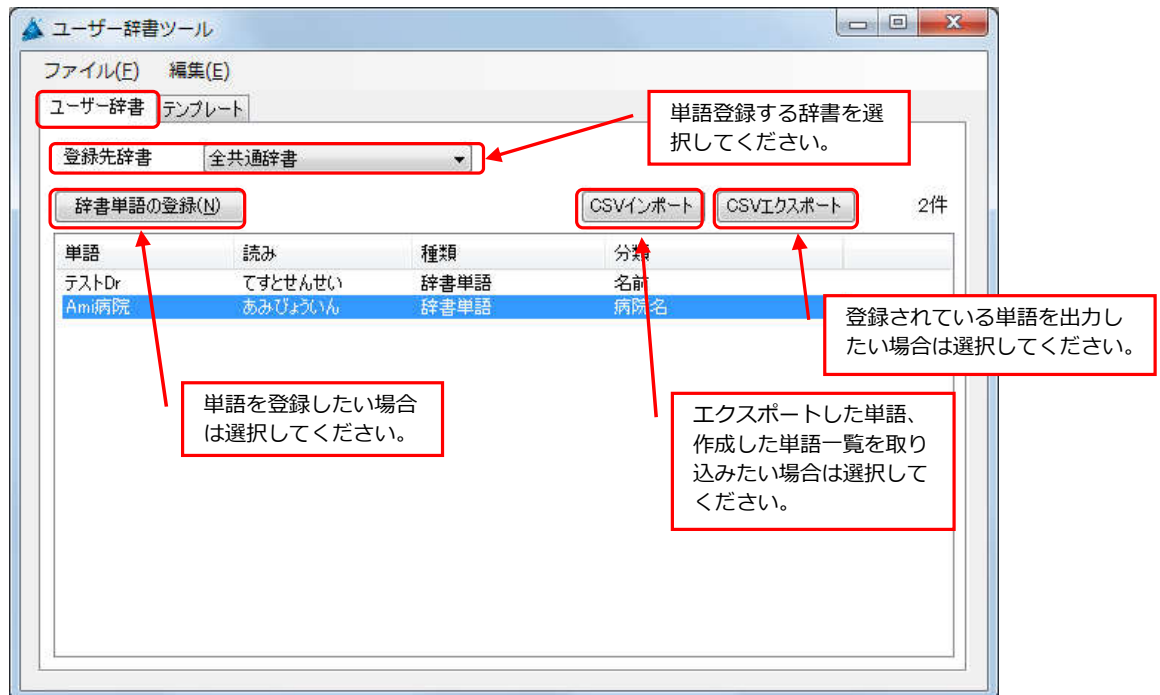
登録する単語を適切な分類に登録することにより、文脈からの認識率が向上されます。

3.7 ユーザー辞書ツール

登録した単語の編集、削除、またはテンプレートの編集、登録をする画面が表示されます。

ユーザー辞書(単語登録)

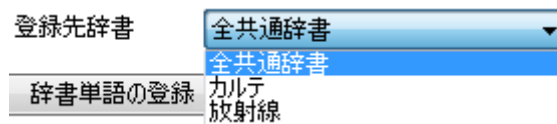
単語登録とは、認識しない単語を登録し、音声により認識させることができます。



項目	説明
① 登録先辞書	単語登録する辞書を選択することができます。 ※「全共通辞書」は登録されている辞書全てに共通となる辞書です。
② 辞書単語の登録	選択された登録先辞書に対して単語の登録を行うことができます。
③ CSV インポート	選択された登録先辞書に単語をインポートすることができます。
④ CSV エクスポート	選択された登録先辞書に登録されている単語をエクスポートすることができます。

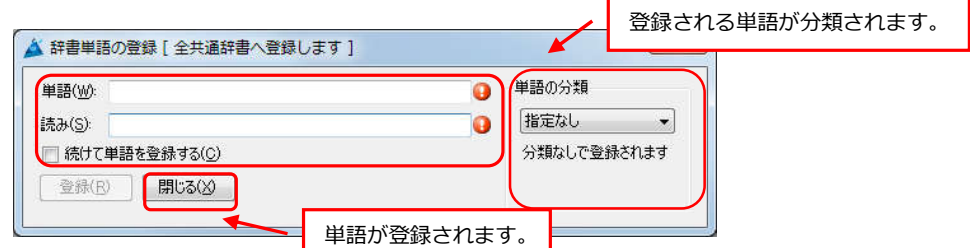
① 登録先辞書

単語登録を行う先の辞書の選択をできます。
コンボボックスを選択して単語登録をする辞書を選択してください。



② 辞書単語の登録

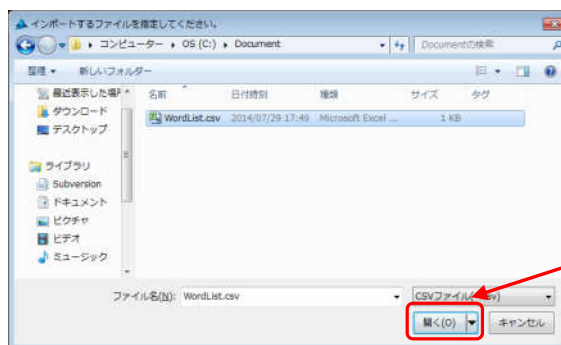
登録先辞書で選択された辞書に単語を登録することができます。
※詳細は「[3.5 単語登録](#)」を参照してください。



③ CSV インポート

インポートするファイルを指定して、【開く】を押下してください。

エクスポートされた単語または CSV で作成されたファイルをインポートすることができます。

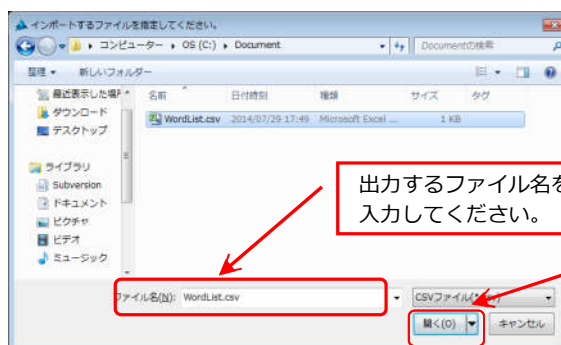


指定されたファイルが
インポートされます。

④ CSV エクスポート

エクスポートするファイル名 (初期値: WordList.csv) を入力して、【開く】を押下してください。

登録されている単語の一覧がエクスポートされます。

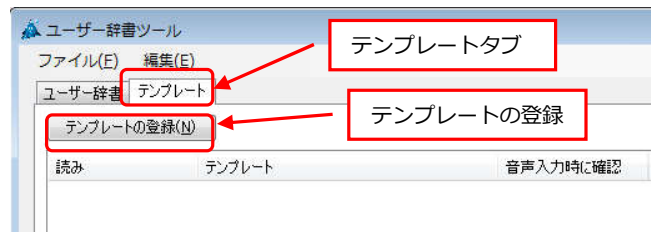


出力するファイル名を
入力してください。

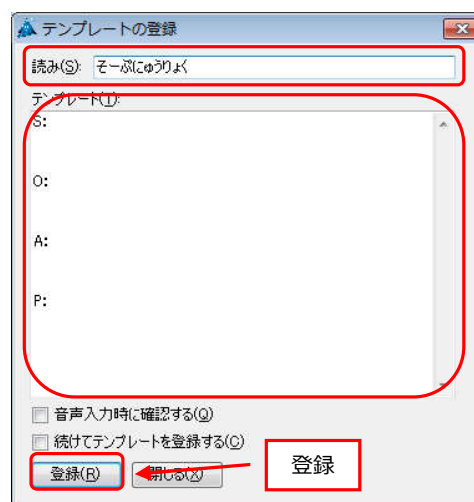
入力したファイル名で
エクスポートされます。

テンプレート

テンプレートとは、よく使う文章を登録し、音声によって入力できる機能です。短い発音で、長い定型文を入力することができます。



テンプレート登録選択後、登録編集画面が表示されます。「読み」にはマイクで音声入力するときの読み方を(ひらがなで)、「テンプレート」には表示したい内容を登録してください。



項目	説明
読み	登録するテンプレートは読みを入力してください。(ひらがな)
テンプレート	読みに対するテンプレートを入力してください。
音声入力時に確認する	チェックされている場合、プレートの音声入力時に確認画面が表示されます。
続けてテンプレート登録する	登録ボタンを押下後、続けてテンプレート入力が行えます。
登録	入力されたテンプレートが登録されます。
閉じる	テンプレートの登録画面が終了します。

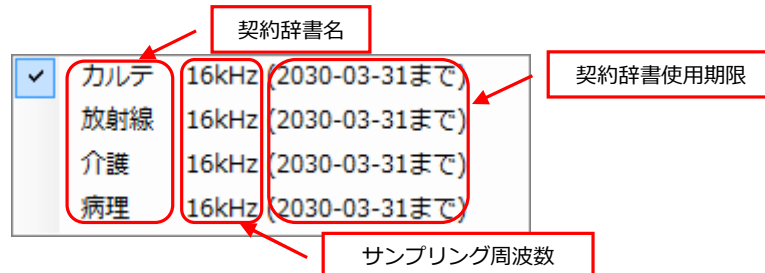
※テンプレートの使用例として、「[文字検索機能の使用例](#)」を参照してください。

3.8 辞書接続

契約されている辞書の一覧が表示されます。

接続する辞書を選択してください。

※接続することができる辞書は契約状況によって、内容が変更されます。



3.9 設定画面を開く

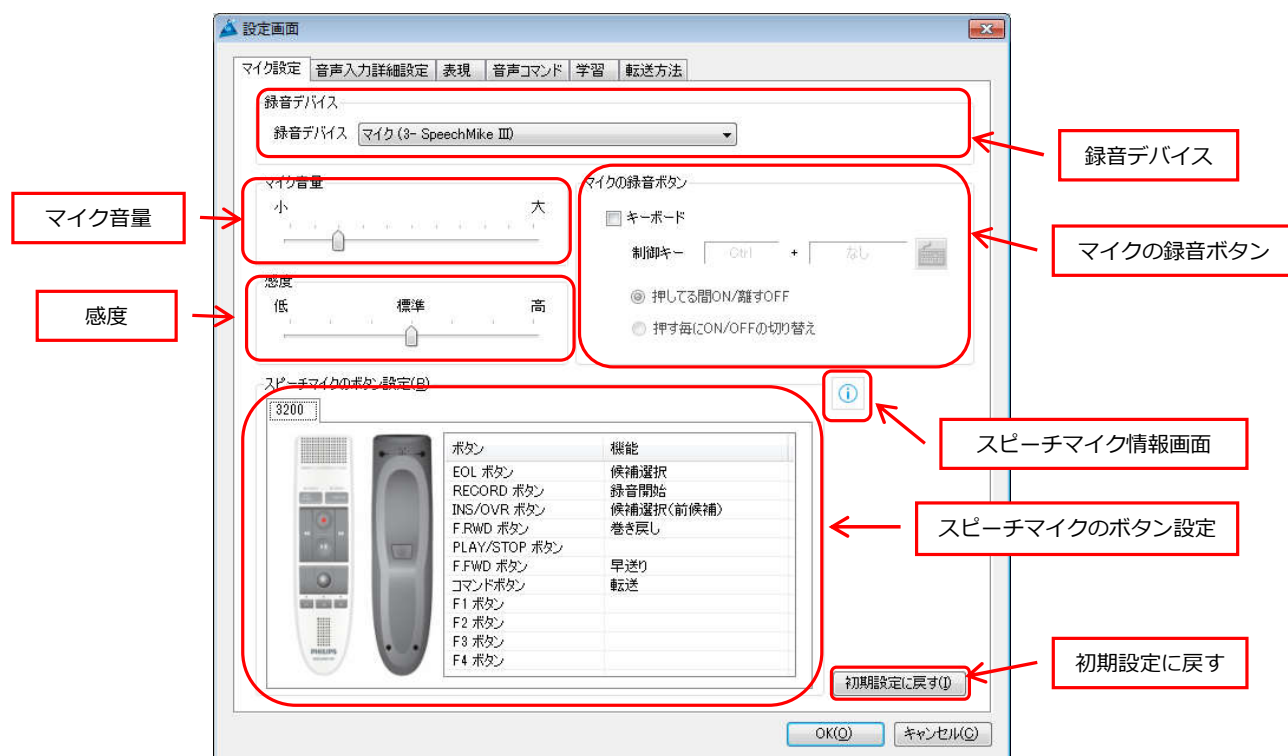
マイク設定、直接入力詳細設定、表現、音声コマンド、学習、転送方法の設定を行う画面が表示されます。



項目	説明
マイク設定	AmiVoice CLx で使用する録音デバイスやマイクの設定を行うことができます。
音声入力詳細設定	音声入力時のフォントや、録音時の設定を行うことができます。 転送前ウィンドウの設定を行うことができます。
表現	音声入力の結果をどのように表現するか、設定を行うことができます。
音声コマンド	音声コマンドの読みや内容の設定を行うことができます。
学習	候補で選択した単語を優先的に表示されるようにする設定を行うことができます。
転送方法	音声入力された文字をアプリケーションに転送する際の転送方法及び、転送先のアプリケーションを固定にする設定を行うことができます。

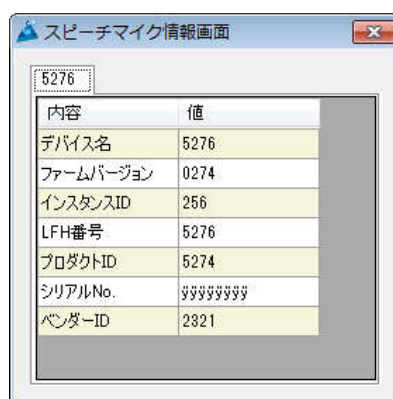
マイク設定

ここでは、AmiVoice CLx で使用するマイクの選択と音量の設定、マイクの録音ボタンの変更を行うことができます。



項目	説明
① 録音デバイス	使用する録音デバイスを選択することができます。
② マイク音量	マイクの音量を調節します。
③ 感度	音声が入力されると判断する音量を調節します。
④ マイクの録音ボタン	マイクの録音ボタンを「キーボード」「スピーチマイク」の割り当てをします。 キーボードを選択した場合、制御するキーの選択、ボタンの動作を設定します。 「押している間 ON/離す OFF」 「押す毎に ON/OFF の切替え」 録音を行う制御キーを決めることができます。
⑤ スピーチマイク情報画面	接続されているスピーチマイクの詳細情報が表示されます。 ※接続されているマイクがスピーチマイクの時に表示されます。
⑥ スピーチマイクのボタン設定	AmiVoice CLx のマイクボタンを自由に設定することができます。
⑦ 初期設定に戻す	現在表示されているスピーチマイクのボタンを初期設定に戻すことができます。

※スピーチマイク情報画面



- ① 録音デバイス
使用する録音デバイスを選択してください。

録音デバイス

録音デバイス マイク (3- SpeechMike III)

- ② マイク音量
使用するマイクの音量が適正な音量でない場合は、スライダーを移動させて調整してください。

マイク音量

小 大



- ③ 感度
マイク音量の調整で音量を最大でも適正にならない場合は、スライダーを移動させて調整してください。
高: 小さな音量で発話を認識します。
低: 大きな音量で発話を認識します。

感度

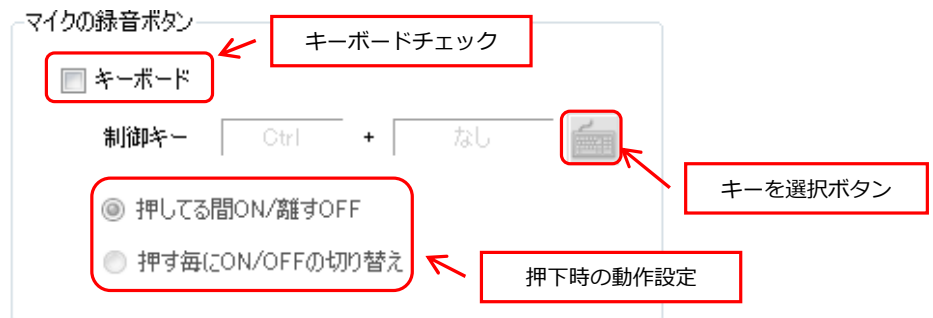
低 標準 高



※適正な音量とは
マイクで発話した際に、AmiVoice CLx の音量メータで緑の範囲内が適正な音量となります。



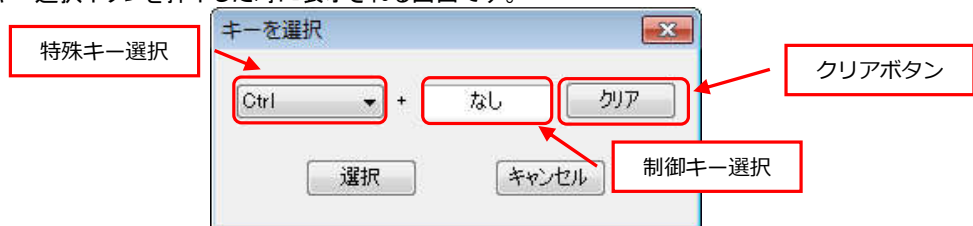
- ④ マイクの録音ボタン
 マイクの録音ボタンをキーボードで行う場合は、キーボードチェックを On にし、制御するキーを「キー選択」ボタンにて実施してください。



項目	説明
キーボードチェック	キーボードで録音を行うか、行わないかを設定することができます。
キー選択ボタン	キーボードチェックが ON の場合、使用する制御キーを選択できる画面に遷移します。
押下時の動作設定	押している間 ON/離す OFF:
	制御キーを押している間マイクの録音が ON となり、話すと OFF になります。
	押す毎に ON/OFF の切り替え:
	制御キーを一度度押すとマイクの録音が ON となり、もう一度押すと OFF になります。

※キー選択

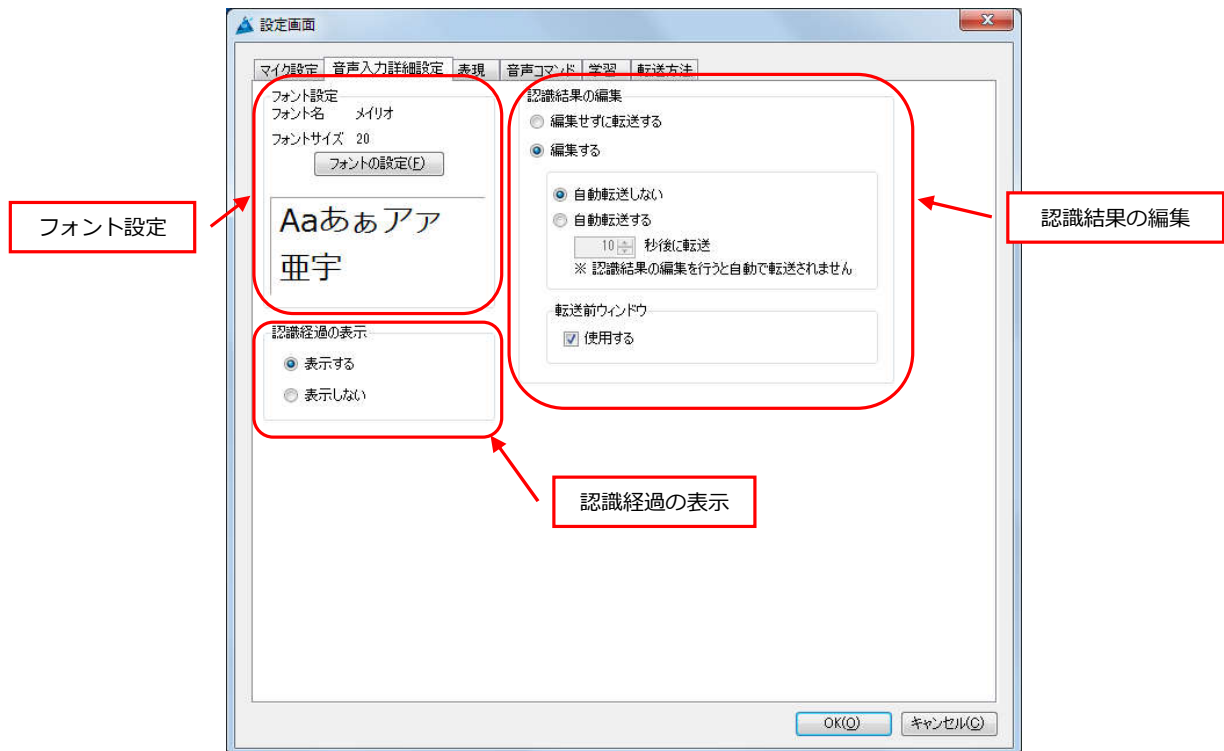
キー選択ボタンを押下した時に表示される画面です。



項目	説明
特殊キー選択	ctrl キーや Alt キーなど特殊キーを設定することができます。 設定できるキーは以下となります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Shift Ctrl Alt 左 Shift 右 Shift 左 Ctrl 右 Ctrl 左 Alt 右 Alt なし </div>
制御キー選択	キーボードのキーを入力することにより、自動で設定されます。
クリアボタン	特殊キーと制御キーがクリアされます。
選択ボタン	選択ボタンを押下することにより、設定された特殊キーと制御キーが記録されます。

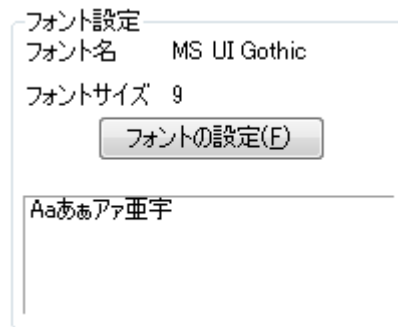
音声入力詳細設定

ここでは、音声認識後に表示されるフォントや認識結果後に文字を転送するか編集するか設定することができます。



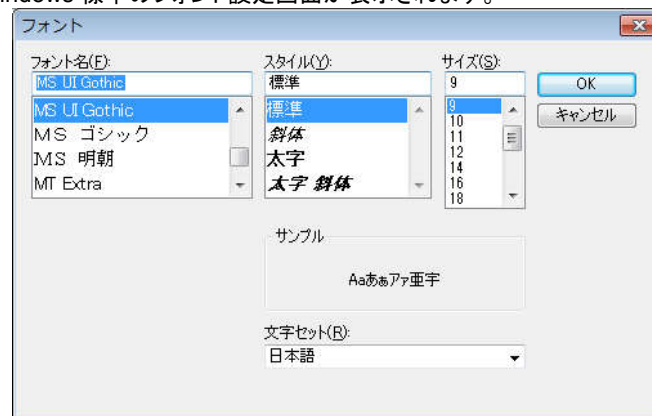
項目	説明
① フォント設定	音声入力時に画面に表示されるフォントを設定します。
② 認識経過の表示	発話した際の認識経過を表示するかしないかを設定します。
③ 認識結果の編集	音声認識された結果を編集するかしないかを設定します。 編集する場合、自動で転送するか、しないかを設定します。 自動転送する場合は転送時間を設定します。 転送前ウィンドウを表示するかしないかを設定します。

- ① フォント設定
音声認識後に表示される候補選択のポイントを設定します。

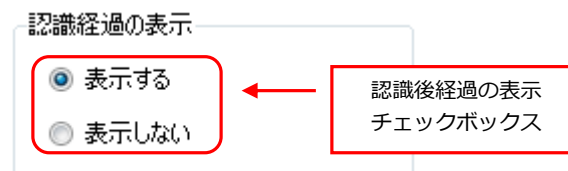


※フォント設定画面

Windows 標準のフォント設定画面が表示されます。



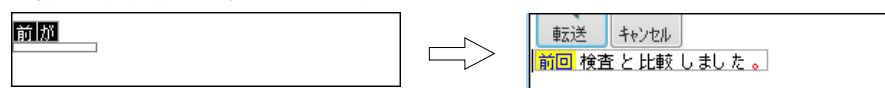
- ② 認識経過の表示
認識経過を発話中に表示するか、発話後に表示するか設定します。



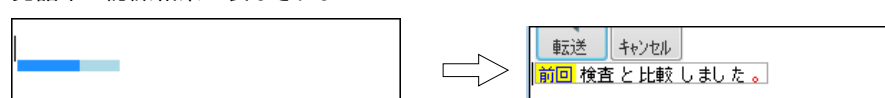
※認識経過とは

マイクに対して発話中に音声認識の経過を表示することです。

- 認識経過を表示する。
発話中に認識経過が表示されます。



- 認識経過を表示しない。
発話中に認識結果が表示されません



音声認識が遅いと感じた場合は認識経過を表示しないに変更してください。

※インストール時は認識経過を表示するに設定してあります。

③ 認識結果の編集

音声認識後に認識結果を編集するかしないかを設定します。

認識結果の編集

☐ 編集せずに転送する ← 「認識後結果の編集」チェックボックス
☒ 編集する ← 「編集する」チェックボックス

☒ 自動転送しない
☐ 自動転送する
 10 秒後に転送
 ※ 認識結果の編集を行うと自動で転送されません

転送前ウィンドウ

☒ 使用する

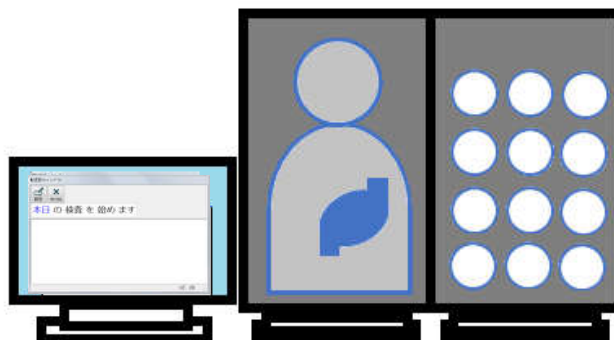
項目	説明
編集せずに転送する	音声認識結果を編集せずにアプリケーションに転送します。
編集する	音声認識結果をアプリケーションに転送する前に編集することができます。
自動転送しない	転送しない限り、自動でアプリケーションに転送されることはありません。
自動転送する	設定されている時間が経つと自動でアプリケーションに転送されます。
転送前ウィンドウ	発話時に転送前ウィンドウを使用するかしないか設定することができます。
使用する	使用する場合は発話時に転送前ウィンドウが表示されます。

※転送前ウィンドウとは

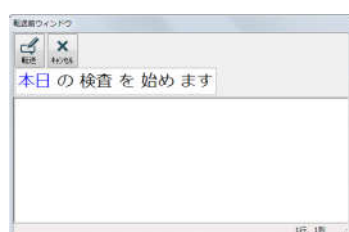
発話された内容を転送する前に表示するウィンドウのことです。本機能を使用することにより、発話中でも他の場所にカーソルを奪われずに発話することができます。

使用例)

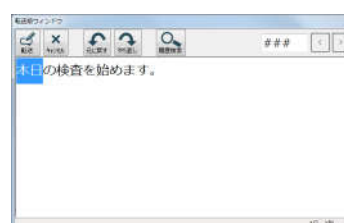
CT 等の断層をマウスで頻繁に移動しながら話しても、フォーカスを奪われることなく、読影に集中できます。



発話 →



→



→ 転送

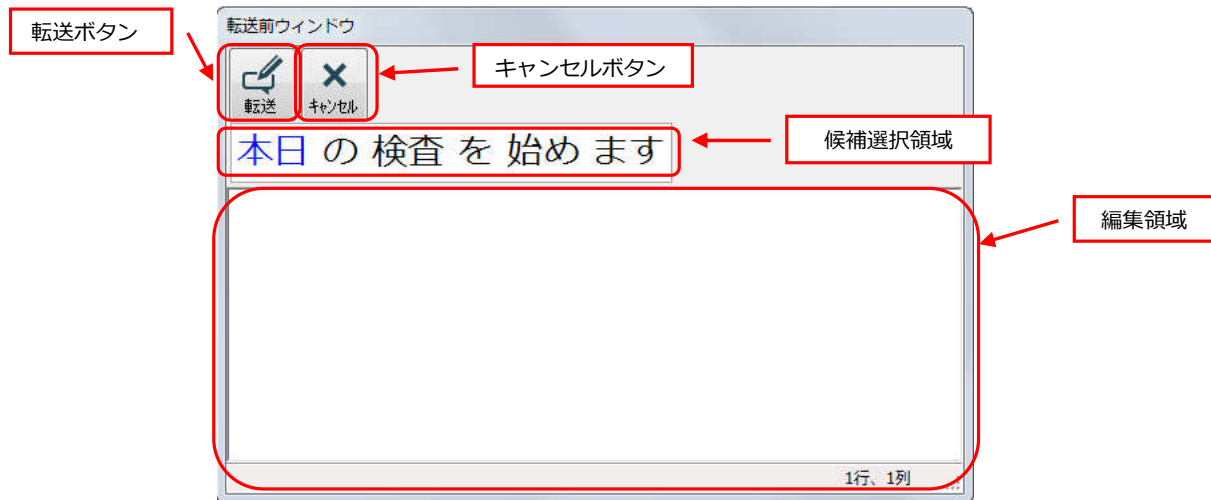
転送前ウィンドウ

転送前ウィンドウは発話開始時に表示され、発話内容が表示されます。発話後、編集領域にカーソルを移動することで、内容の編集、Web 検索等を行うことができます。

(1) 音声認識モード

音声認識モードは音声認識サーバーより取得した音声認識結果が表示されます。認識結果を編集したい場合は編集領域をマウスでクリックしてください。

※音声認識結果を候補選択で編集したい場合、編集モードにする前に編集したい単語に移動し、上下キーで変更してください。



項目	説明
転送	音声認識結果をアプリケーションに転送します。
キャンセル	音声認識結果をキャンセルします。
候補選択領域	音声認識サーバーから送付された音声認識結果が表示されます。
編集領域	マウスでクリックすることで、音声認識結果が表示され、内容の編集をすることができます。

※ハイライト表示

候補選択領域部分で、診断の上で間違いやすい(間違えると診療自体に影響のある言葉)について、ハイライトで表示されます。

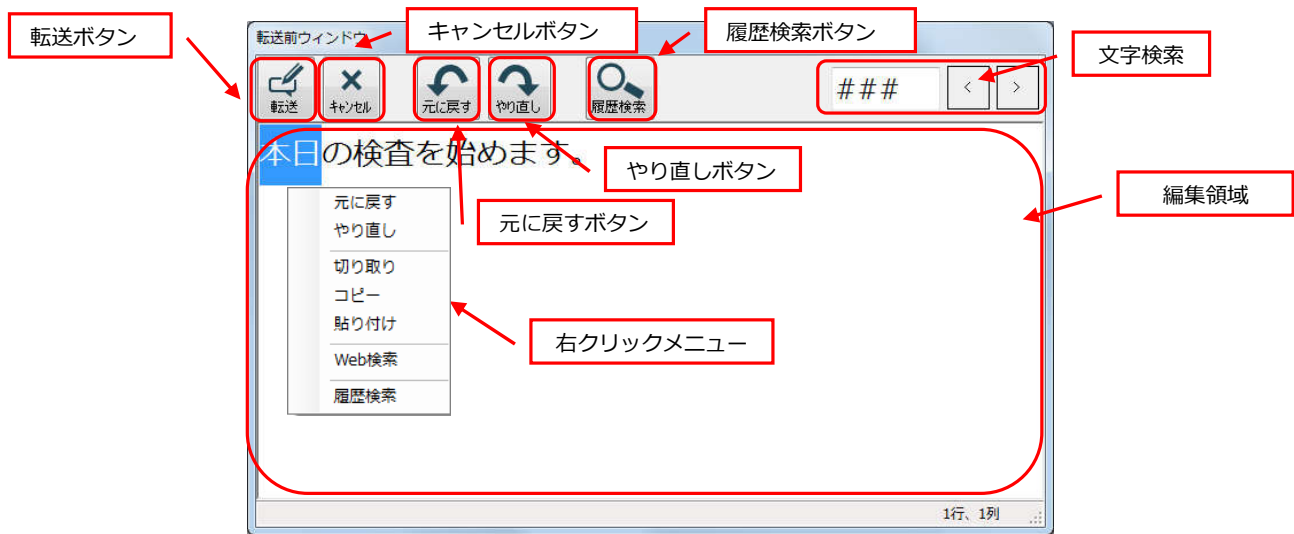


ハイライトされる文字は以下となります。

内容	
ます	ません
あり	なし

(2) 編集モード

編集モードは、音声認識モードで認識された結果を編集することができます。
編集モードでは、通常のメモ帳等と同じで IME で編集を行うことができます。
※IME: 文字入力を補助するソフトウェアのことです。



項目	説明
転送	音声認識結果をアプリケーションに転送します。※
キャンセル	音声認識結果をキャンセルします。
元に戻す	編集領域で編集された内容について編集する前の状態に戻せます。
やり直し	「元に戻す」で戻した内容をやり直します。
履歴検索	選択された文字から、過去発話された内容を検索することができます。
文字検索	編集領域内の文字を検索できます。
<	検索された場所から前を検索します。
>	検索された場所から後を検索します。
編集領域	音声認識結果が表示され、内容の編集をすることができます。
右クリックメニュー	編集領域を右クリックすると、以下のメッセージが表示されます。 「もとに戻す」、「やり直し」、「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」、「Web 検索」 「履歴検索」

※連続発話について

転送ボタンまたは Enter キーを選択肢ない限り、内容は転送されません。続けて発話することができます。

編集領域での右クリックメニュー

元に戻す
やり直し
切り取り
コピー
貼り付け
Web検索
履歴検索

メニュー項目	説明
元に戻す	編集された内容を元に戻します。
やり直し	「元に戻す」で戻した内容をやり直します。
切り取り	選択された文字を切り取ります。
コピー	選択された文字をコピーします。
貼り付け	切り取り、コピーされた内容を貼り付けます。
Web 検索	選択された文字を Web にて検索します。 ※検索時に使用されるブラウザは標準に設定されているブラウザとなります。
履歴検索	選択された文字から、過去発話された内容を検索することができます。

※文字検索機能の使用例

テンプレート登録時に可変部分を「###」に設定しておき、テンプレート表示後文字検索を行うと、すぐに可変部分へ移動することができ、編集を行うことができます。

イメージ 1)

テンプレート内容

いつも大変お世話になっております。
先日の患者様 (###様) ですが、
本日無事退院されました。

AMI 医院
太郎

テンプレート発話後に文字検索を行うと、「###」に移動するため、すぐに可変部分の編集を行うことができます。

イメージ 2)

テンプレート内容

体温： ### → 36.5 度
最高血圧： ###
最低血圧： ###
脈拍： ###回/分

テンプレート発話後に文字検索を行い、「###」に移動を行います。その後、再度発話することにより、「###」が置き換わります。
「###」 → 36.5 度

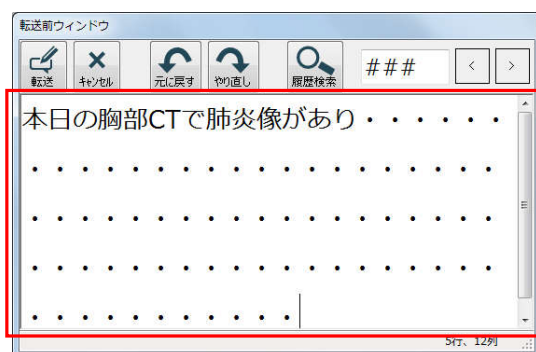
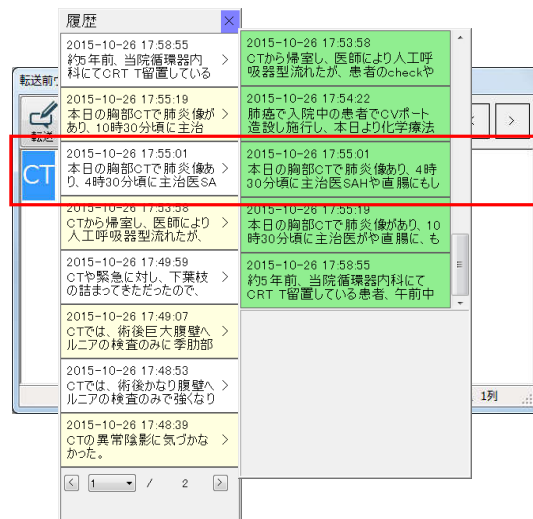
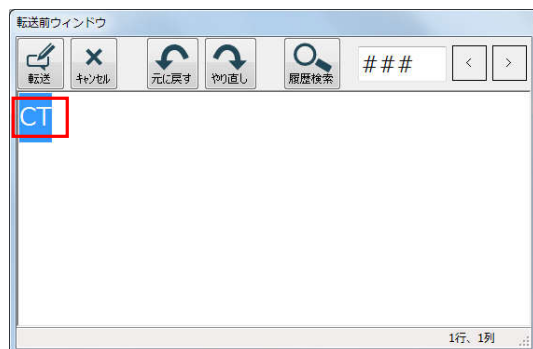
※履歴検索機能の使用例)

履歴検索機能は発話された内容の単語を選択し、履歴検索を実施することで過去に発話された内容から選択された単語に関する内容を検索することができます。

検索結果は、履歴一覧→タイムラインというように表示され、タイムラインは「>」を選択された内容から前後5件の内容が表示されます。各タイムラインを選択すると、下部に選択された内容が表示されます。

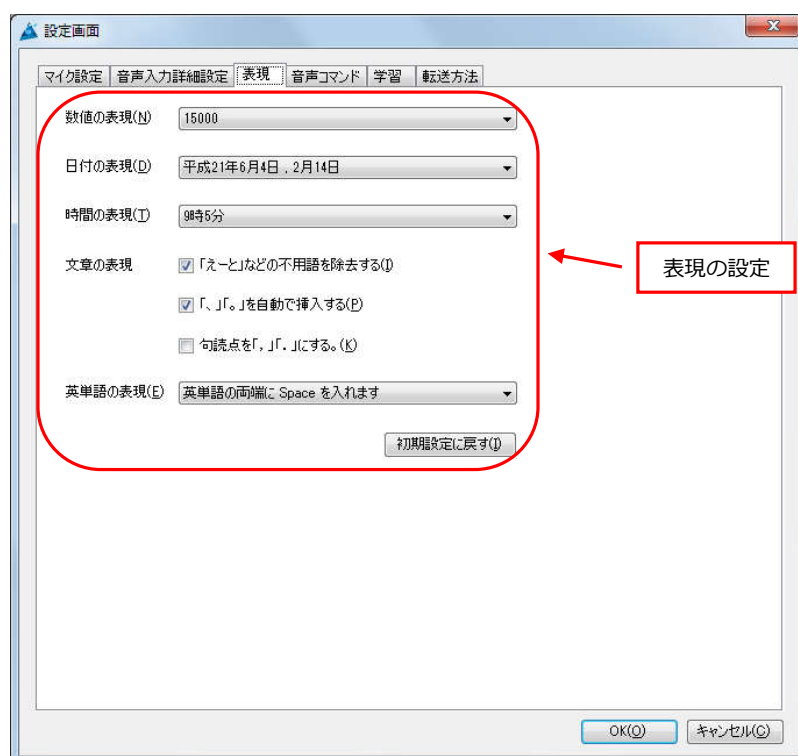
※そのままダブルクリックをすることにより、履歴検索された文字が置き換わります。

イメージ)



表現

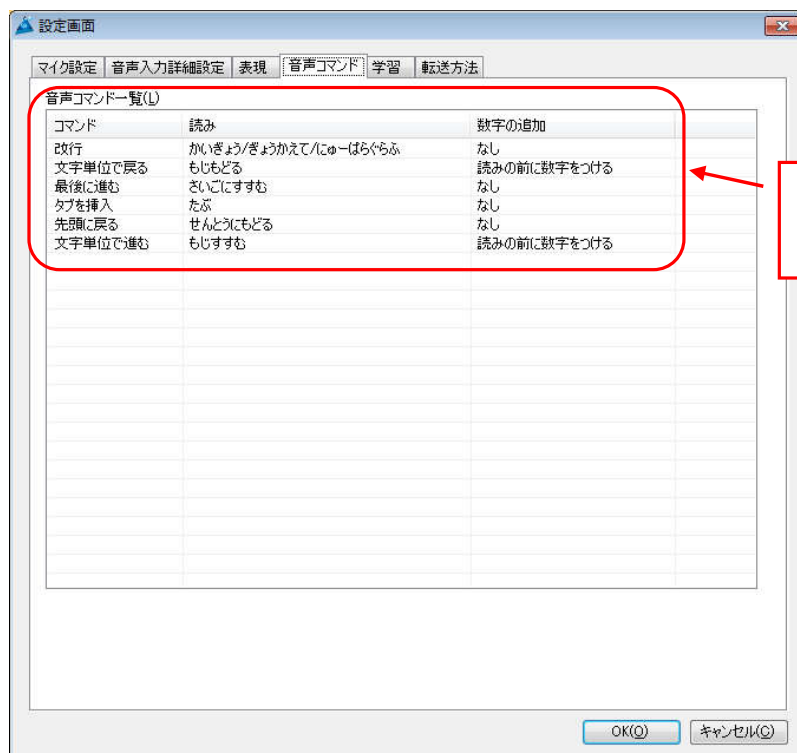
ここでは、音声認識時に表示される数字や日付の表現を設定することができます。



項目	説明
数値の表現	数値の形式を「1 万 5000」「15000」「15,000」の中から選択できます。
日付の表現	日付を入力した時の表記を選択できます。
時間の表現	時間を入力した時の表記を選択できます。
文章の表現	下記 3 つの項目を選択できます。 ・「えーと」などの不用語を除去する。 「えーと」「えー」は不要な言葉として、自動で除去します。 ・「、」「。」を自動で挿入する。 音声入力の途中に自動で「、」「。」を挿入します。 ・句読点を「、」「。」にする。 自動で挿入される「、」「。」を「、」「。」に変更します。
英単語の表現	英単語の両側にスペースを入れるか入れないか選びます。
初期設定に戻す	表現にて設定された値を、AmiVoice CLx の初期状態に戻します。

音声コマンド

ここでは、改行などの音声コマンドの読みの編集や読みの追加をすることができます。
 ※音声コマンドを新規追加、削除することができません。



ダブルクリックにより
音声コマンドの編集が
できます。

項目	説明
音声コマンドの編集	コマンドをダブルクリックすると音声コマンドの設定画面が表示され、編集を行うことができます。

音声コマンドの編集



項目	説明
コマンド名 ※変更不可	編集対象となっている音声コマンド名。 ※本バージョンでは編集することはできません。
よみ	編集対象となっている音声コマンドの読み。 追加、編集することができます。 ※ひらがなのみ入力可能
数字の付加	「文字単位で戻る」「文字単位で進む」のみ変更できる項目となります。 発話した数字分処理が実行されます。 以下項目を選択することができます。 なし 読みの前に数字をつける 読みの後に数字をつける
読みの一覧	追加された読みの一覧が表示されています。 表示されている読みを選択すると、編集することができます。

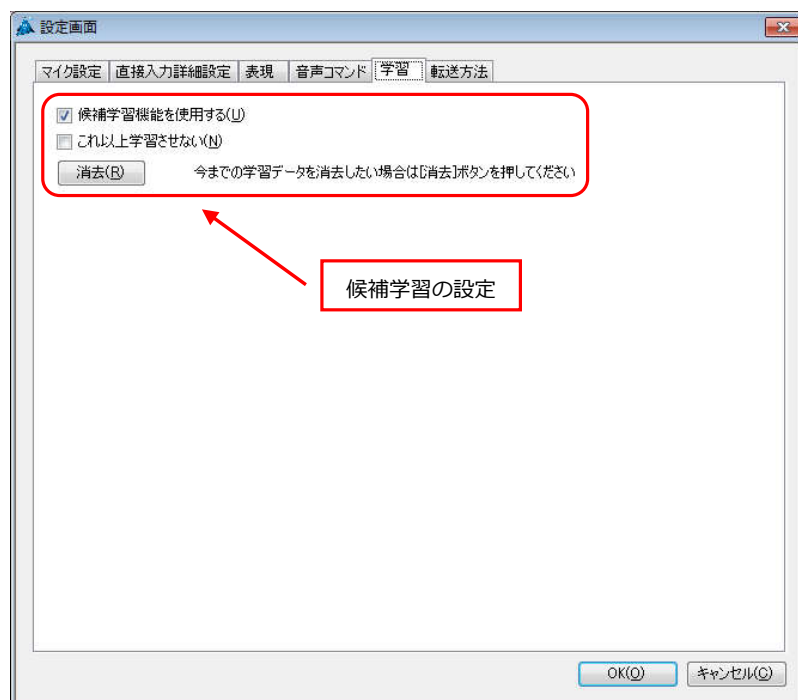
初期登録音声コマンド一覧

コマンド	読み	動作
改行	かいぎょう/ぎょうかえて/にゅーぱらぐらふ	改行を入力します。
文字単位で戻る	もじもどる ※読みの前に数字(最大 99)をつける。	現在のカーソル位置から数字分カーソルを戻します。
最後に進む	さいごにすすむ	文章行の最後にカーソルを移動します。
タブを挿入	たぶ	カーソル位置にタブを挿入します。
先頭に戻る	せんとうにもどる	文章行の最初にカーソルを移動します。
文字単位で進む	もじすすむ ※読みの前に数字(最大 99)をつける。	現在のカーソル位置から数字分カーソルが進みます。

学習

ここでは、候補学習機能を設定することができます。

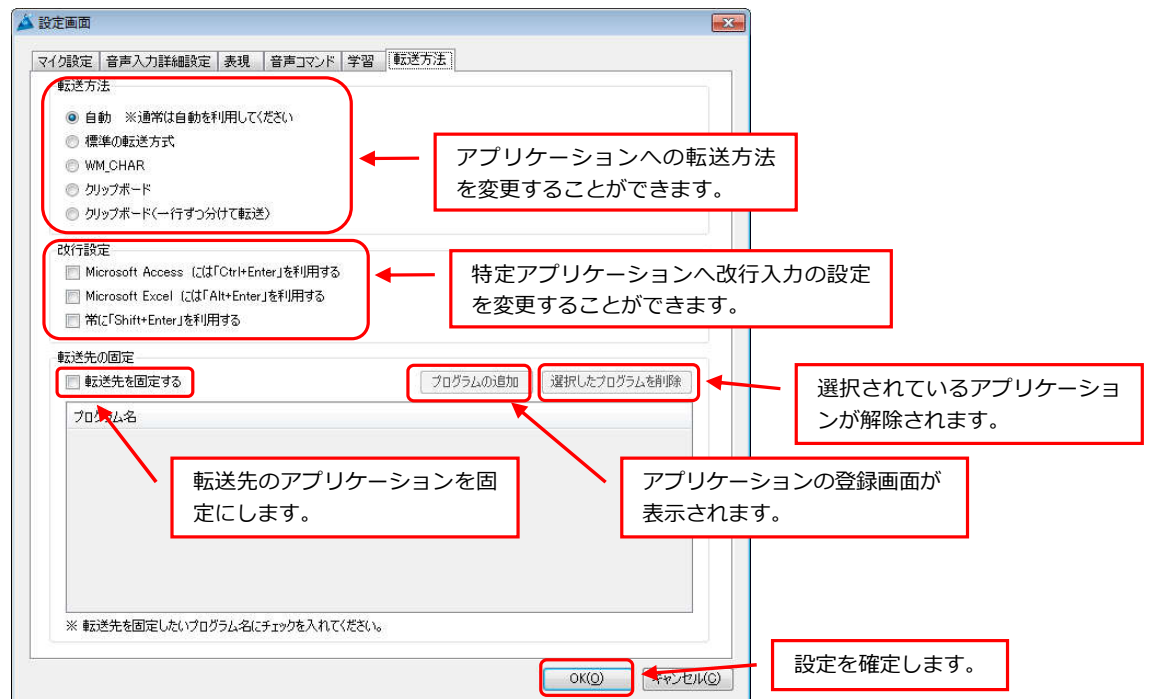
※候補学習を行うと、候補で選択した単語が次回から優先的に表示されるようになります。



項目	説明
候補学習機能を使用する	候補で選択した単語が次回から優先的に表示されるように学習を行うことができます。
これ以上学習させない	候補学習をこれ以上しないようにできます。
消去	今まで学習させてきた内容を消去します。

転送方法

ここでは、音声認識された文字を他のアプリケーションへ転送する方法を設定することができます。



項目	説明
転送方法	音声認識したテキストデータの転送方法の変更をすることができます。 自動 標準の転送方式 WM_CHAR クリップボード クリップボード(1行ずつ分けて転送)
改行設定	音声認識時に改行を入力する際、特定のアプリケーションへの改行設定を変更することができます。 Microsoft Access には「Ctrl+Enter」を利用する Microsoft Excel には「Alt+Enter」を利用する 常に「Shift+Enter」を利用する
転送先固定	音声認識したテキストデータの転送先を固定に設定することができます。 ※プログラムにより固定にできない場合があります。 確認済みプログラム Notepad Word Excel
転送先を固定する	チェックがされると選択されたプログラムのみテキストが転送されます。
プログラムの追加	転送先を固定するプログラムを選択することができます。 ※「転送先を固定する」がチェックされている時にのみ実行できる。
選択したプログラムを解除する	転送先を固定するアプリケーションの選択を解除します。

3.10 音響学習リセット

蓄積されている音響学習をリセットします。

AmiVoice CLx では、発話されているユーザーの音声を自動で学習しています。

※学習することにより、音声認識の認識率を向上しています。

ただし、他のユーザーが喋った場合や風邪を引いた場合など音声に変更があった場合、今までの認識率が悪くなってしまうです。

通常は再度発話を続けてもらおうと元に戻りますが、あまりにも悪くなってしまった場合は「音響学習リセット」を行うと、認識率がよくなることがあります。



3.11 管理サイトを開く(マイページを開く)

発話した音声ファイルを聞いたりするための Web サイトのログイン画面に遷移します。

発話した音声を聞きたい場合、「管理サイトを開く(マイページを開く)」メニューを選択してください。

※条件により表示内容が変更されます。

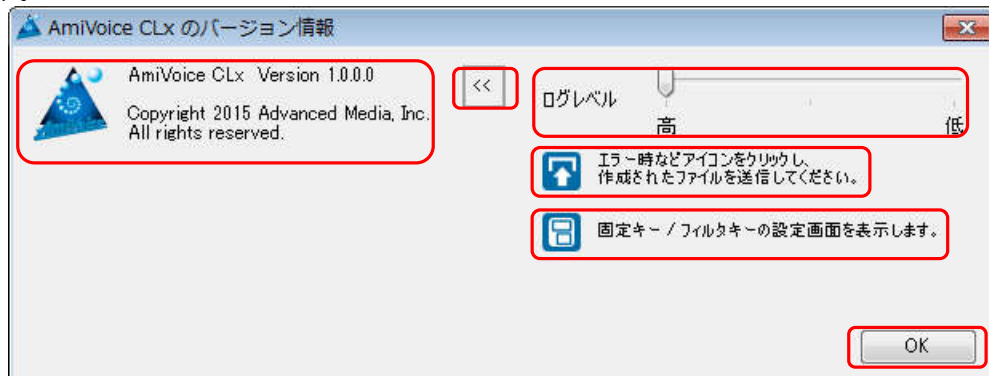
3.12 ヘルプ

AmiVoice CLx のヘルプに遷移します。

ヘルプ画面では、本ドキュメントの他に Amivoice CLx に必要となるドライバソフトなどがダウンロードできるサイトに遷移します。

3.13 バージョン情報

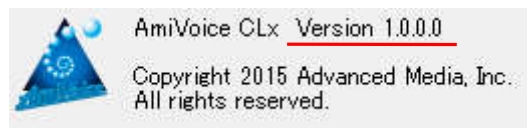
AmiVoice CLx のバージョン情報が表示されます。
ここでは AmiVoice CLx のバージョン情報、ログレベルの変更等システム全体に関わる変更を行うことができます。



項目	説明
① バージョン情報	AmiVoice CLx のバージョンを表示しています。
② [<<] [>>]ボタン	バージョン情報の画面を閉じたり開いたりします。
③ ログレベル	ログの出力レベルの設定ができます。
④ エラー情報ファイル作成	エラーが発生した場合、アドバンスド・メディアに提供していただくファイルが作成されます。
⑤ 固定キー/フィルタキーの設定画面を表示します。	キーボードショートカットの設定を変更できます。

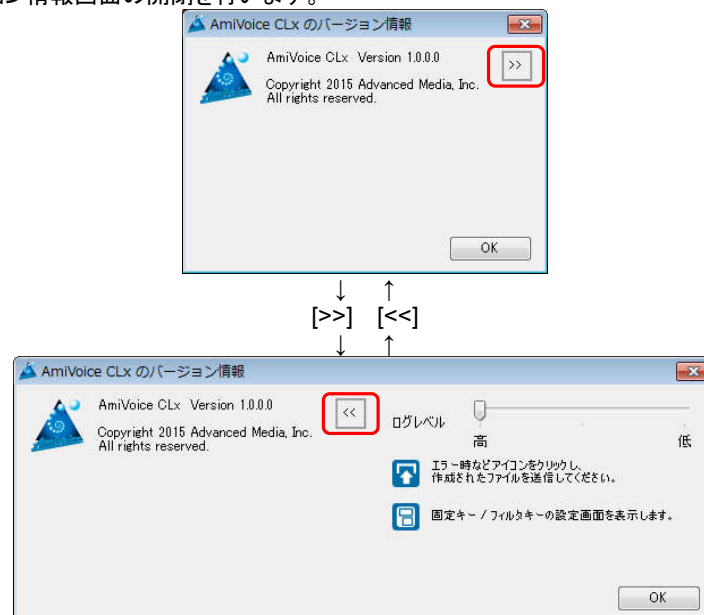
① バージョン情報

AmiVoice CLx のバージョン情報が表示されています。
※不具合時に弊社への連絡する際に記述されているバージョンを連絡してください。



② [<<] [>>]ボタン

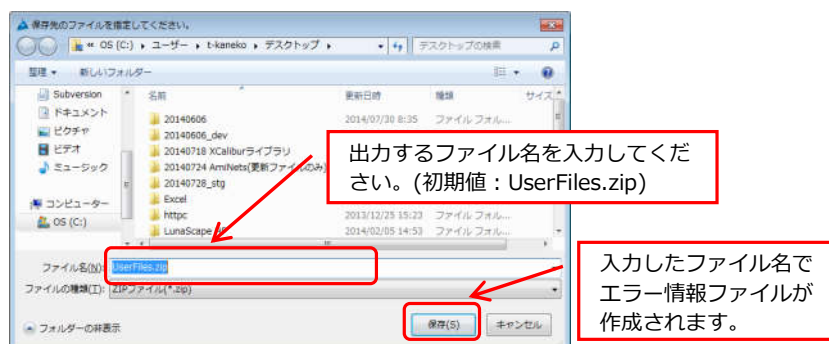
バージョン情報画面の開閉を行います。



③ エラー情報ファイル作成

エラーが発生した際に弊社へ送付するエラー情報ファイルを作成します。

※お問い合わせの時に本ファイルとバージョン情報の提供をお願いします。



④ キーボードショートカットの解除

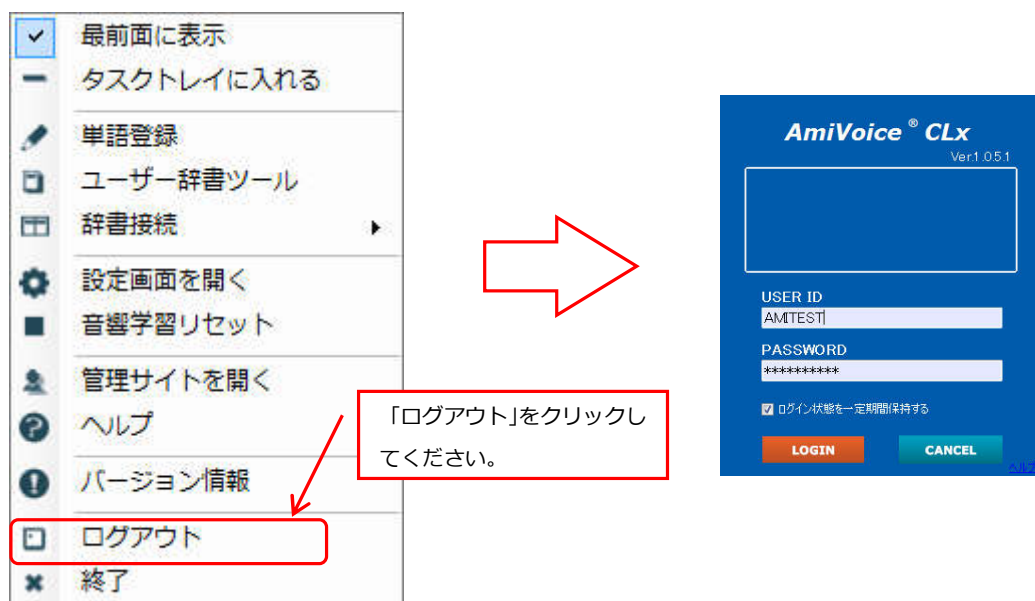
キーボードショートカットの設定を変更することができます。



項目	説明
解除する	キーボードショートカットを解除します。
解除しない	キーボードショートカットを元に戻します。

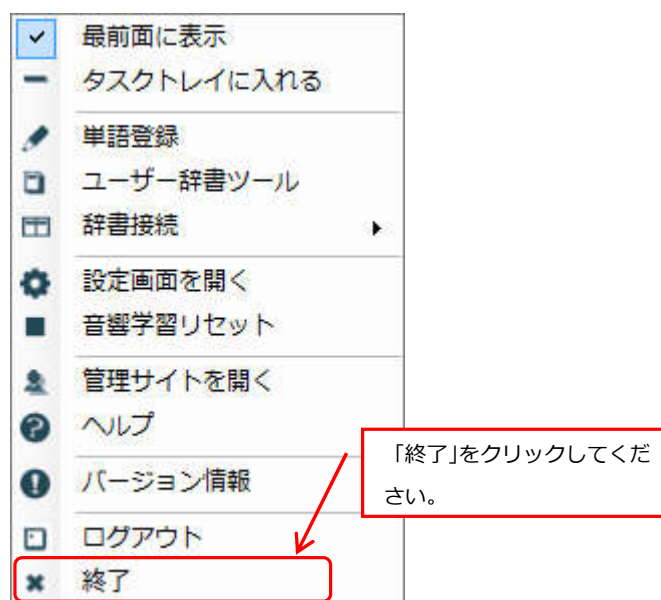
3.14 ログアウト

AmiVoice CLx をログアウトする場合にクリックしてください。
ログアウトを行うと、ログイン画面が表示されます。



3.15 終了

AmiVoice CLx を終了する場合にクリックしてください。





株式会社アドバンスト・メディア

URL: <http://www.advanced-media.co.jp/>

Copyright © 2015-2018 Advanced Media, Inc. All rights reserved.

2015.07
改訂: 2018.05